

# 香取遺産

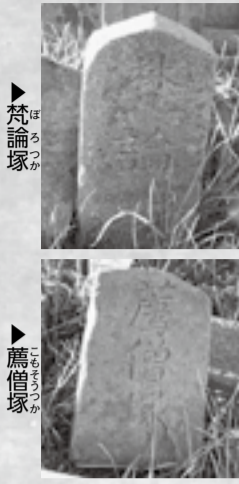
Vol.115

固生涯学習課 ☎(50)1224

虚無僧墓  
一つの生き方を物語る墓



▲虚無僧の墓



▶梵論塚

▶薦僧塚

新里大久保から多古方面へ通ずる街道沿いの大角地区に「虚無僧墓」として伝説と信仰を伝える墓があります。

墓には、二十数基の大小さまざまの石塔が散在しており、梵論塚ともいわれています。

石塔には「梵論塚」「薦僧塚」「梵論大権現」「普化祖霊神」などの文字が見つけられ、江戸時代後期の天保二年（1831）のものが一番古く弘化、嘉永、明治などの年号が刻まれています。

梵論は半僧半俗の物乞いの一種で、鎌倉時代末期に発生しました。室町時代には尺八を吹いて物を乞う薦僧が現れ、のちの虚無僧となったと言われています。虚無僧は禅宗の一派である普化宗の僧で、喜捨を請いながら諸国を行脚した有髪の僧とされ、天蓋と呼ばれる深い編笠をかぶり袈裟を掛け尺八を吹くという独特な衣装をしていました。また、中には生活に困窮した浪人や、罪人、帯刀した者も多くいたようです。

「天保の初年頃、一人の虚無僧が小川村名主であった高橋家に一夜の宿を請うた。翌日、一管の尺八を礼として旅立ったところ、新里大街道地先にて目指す敵に出会い、切り合いに及んだ。しかし刀が折れ、返り討ちになったため、里の人々がねんごろに葬った」と伝えられています。このことが、いつしか信仰と結び付き、墓前に刀を供え霊を慰めることにより、願いがかなうと信じられるようになったのかもしれない。

虚無僧がなぜ敵と切り合わなければならなかったかは分かりませんが、仇討などが制度化されていた時代に虚無僧となって敵を追っていた当時の社会の一つの生き方を伺い知ることが出来ます。

刀を供えることで僧に目的を遂げさせてあげようという人々の気持ちが信仰となり、現在まで残されてきました。

昭和56年9月22日に市文化財に指定されました。

佐原工芸の

達人になる



固商工観光課 ☎(50)1212

市では、県が実施している早春の観光キャンペーンに合わせ、佐原工芸品の体験教室を開催します。

メニューは、切り出す線の妙「切り絵」、千葉県指定伝統的工芸「佐原張子」「佐原ラフィア」、卵の殻で作る「エッグアート」、粘土で作る「ミニチュアフード」の5コースです。

■期日・内容

- 切り絵…2月13日(土)
- 佐原張子…2月14日(日)
- 佐原ラフィア…2月21日(日)
- エッグアート…2月27日(土)
- ミニチュアフード…3月5日(土)

■時間 10時40分～12時10分

■場所 佐原町並み交流館2階

■参加費 各コース800円

■定員 各回30人 (エッグアート、ミニチュアフードは15人。キャンセル不可)

■申込 実施日の1週間前までに

佐原町並み交流館 ☎(52)1000



## 文芸

作品募集

はがき1枚に俳句2句・短歌2句または「短歌」の係まで。毎月15日までの到着分(12月10日締切)を審査し、翌月号に掲載される作品は、選者により評を踏まえて添削される場合があります。

## 香取俳壇

坂本 正夫選

福笑ひ後期高齢通知来る

嶋田 武夫 (下飯田)

評 後期高齢者は七十五歳以上で、優遇はないが、老いの哀歎を急を感じる。それを巧みに季語を生かし、現代社会の一コマを俳諧味豊かに切り取った佳句。

友の顔浮かべて選ぶ籠の柚子

清水 和子 (神生)

細腕の仲間揃ひて味噌仕込み

本宮 みつ (小見川)

あれこれで事足る夫婦煤払

奥村 利夫 (一ノ分目)

噫して闇に確かな動きあり

篠塚 英允 (木内)

里の日に深々沈み竜の玉

尾形 正子 (木内)

## 香取歌壇

稲村 恒次選

・旧仮名遣い

初咲きの水仙夫へ供へたりよき夫婦たりし日  
偲びつつ 木内 幸子 (八日市場)

評 水仙は冬から早春にかけて咲くので正月花として芳香と共に賞される。ここはその初咲きを先ずは亡き夫君の前に供え、よき夫婦であった生前の夫に想いをめぐらすという。いつまでも変わらぬ愛を持ち続けるやさしさに深い感銘をおぼえる。

友よりの包みひらけば長長と育ちし太き自然  
薯ならぶ 長嶋 理子 (高萩)

鴨らピラカンサの実をたちまちに食ひ尽くせるか庭静まりね 伊藤 こと (小見川)

濯ぎ物干す手に竿に動く陽光けふは遠住む娘の帰りくる 篠塚 みのり (小見川)

父の顔知らずに古稀を過ぎし今妹と靖国の宮に詣でぬ 高木 まさ子 (富田)

長き月日我が家に過ぎし裸婦の絵の美術館に飾られ生生と見ゆ 菅井 昌子 (牧野)

編集後記

今号では「香取小江戸マラソン大会」の取材を行いました。香取市最大規模のスポーツイベントということで、伝統的な町並みを駆け抜けるランナーを撮影しようとして折りたたみ自転車を用意し、万全の態勢で取材へ。ところが、いざ自転車をこいでみると予想よりもちよつとした坂道がきつく「きつとカメラが重いせいで。折られたみ自転車のタイヤが小さいからだ」などと自分に言い訳をしつつ、軽快に走るランナーの後を必死で追いつながら撮影。後日、手元に健康診断の結果が届き、自分自身の体の準備が全くできていなかった現実を認識させられました。

## 今月の納期限

2月1日(月)

- 市県民税 (4期)
- 国民健康保険税 (7期)
- 介護保険料 (7期)
- 後期高齢者医療保険料 (7期)

## 今月の休日納税相談日

1月31日(日)

広報 かつり Katori

平成28年(2016)1月15日号 No.236

編集 香取市役所総務企画部秘書広報課  
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127  
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566  
http://www.city.katori.lg.jp